

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福島県

行 事 名 称	白水阿弥陀堂消防訓練（第 71 回文化財防火デー）
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 26 日（日） 9 時 40 分～10 時 40 分
実 施 場 所	国宝白水阿弥陀堂及びその周辺（いわき市内郷白水町広畑 221）
主 催 者	願成寺、いわき市消防団第 5 支団、いわき市内郷消防署

■実施内容

訓練の想定

国宝白水阿弥陀堂本殿北側山林より出火。北の風に煽られ、本殿に延焼拡大の可能性が強まった。

訓練の内容

願成寺関係者による火災発見、通報訓練を実施。消防署、消防団、警備保障会社により、願成寺敷地内の固定放水銃及び消火栓等を使用し放水訓練の実施。

参加者及び役割分担

願成寺関係者	（1 名）：火災発見、119 番通報
警備保障会社（ALSOK）	（3 名）：放水訓練（固定放水銃）
いわき市消防団第 5 支団	（46 名）：放水訓練（固定放水銃及び可搬ポンプ）
いわき市内郷消防署	（14 名）：全体統括、放水訓練、講評
いわき市内郷支所	（1 名）：現場本部設置訓練
文化財課	（2 名）：現場立ち合い
文化財保護審議会	（1 名）：現場立ち合い
いわき市消防本部	（1 名）：全体統括

特に工夫した点

白水阿弥陀堂敷地内の池の水深低下を考慮し、消防署が保有するフローティングストレーナーを活用し放水訓練を実施することで、当資機材の有効性を確認し、消防団との共有を図った。

問題点・課題

厳寒期において、水利として使用予定の施設内の池が凍結する恐れがあることから、近隣の水利の統制を確保する必要がある。

その他

令和 5 年 9 月の台風 13 号の影響による大雨では、周囲の河川が氾濫し、多数の住家浸水等の被害が発生。本堂も床上浸水の被害を受けた。今後は、火災からの消防訓練と同時に、水害から文化財を守る訓練も実施していく必要がある。

訓練風景



放水訓練